

11月27日（木）から12月市議会が始まります。衆院選と日程が重なった影響か本会議個人質問を行う議員は12名と少なめです。今議会に、尾張旭の国保と介護を良くする会が取り組んだ請願が出され、その議論も行われます。

科学的根拠を活かして  
合意形成を作りやすい

「貧困の削減・根絶の歩みを進めるには『貧困』というものに対する科学的認識を確立し、かつその削減・根絶を社会共通の課題にすることが必要です。貧困が生まれるメカニズムや、貧困が存在することで社会全体が受ける損失の大きさを科学的に解明することは「貧困は自分には関係ない」と思っている人々にも考えを変えてもらう手がかりになるでしょう。また、貧困の削減・根絶のための制度を作ったり政策を展開するためには、それらによって貧困が削減・根絶できるといふ科学的

見通しと、そのために公のお金を使うということへの国民の政治的合意が不可欠です。」（「イギリスに学ぶ子ども貧困解決」(かもがわ出版)より引用。  
11月17日、国立社会保障・人口問題研究所の研修会に出かけました。すぐに市政に提案できるといふものではないが、子どもの貧困対策で実績を上げていると述べていた英国でも「ネガティブキャンペーン」によって制度後退が起きていること。受給者への批判が展開されているが、実は『自分のものを我慢して、子どもに与えるという傾向が貧困家庭の親のほうが高い』ことが統計的に

示された。（イギリスでの統計調査による）と言います。

短期的な財政負担を軽減させようとすればネガティブキャンペーンは、どこでも起きうる問題で、日本における生活保護パッシングに共通するものを感じます。

12月議会では、そんなことも念頭に、後半の質問を起しました。



## 12月議会 党議員団の質問項目 と 議会日程

### 川村つよし議員の質問

(2日(火)午後3時過ぎ見込み)

- あさび一号の運行見直しについて  
(1) 公共施設としての位置づけについて  
(2) 収支率22%維持は至上命題なのか  
(3) 過去の議論や経緯の再確認を  
(4) 他市の運行見直し例に学ぶことは  
(5) 藤が丘行き要望について  
(6) 利用者増に向けて
- 子供の貧困対策に関する大綱への対応について  
(1) 子供の貧困に関する指標について  
(2) 指標の改善に向けた当面の重点施策について  
(3) 職員教育・研修の実施状況について
- 差押え禁止財産の考え方について  
(1) 税滞納などにおける対応として実施した差押え件数と内訳について  
(2) 差押え禁止財産について

### 議会日程

本会議個人質問

2日(火)・3日(水)

※国保介護請願提案説明

(3日、4時過ぎの見込み)

福祉文教委員会 8日(月)…川村議員

(国保介護請願の審議)

都市環境委員会 9日(火)

総務委員会 10日(水)

議会運営委員会 15日(月)

本会議 最終日 16日(火)

開始はいずれも 午前9:30~

## 年末年始 パブコメ続々

12月市議会に先立ち、11月19日に開かれた市議会全員協議会で、市から現在策定中の計画についてパブリックコメントを行うと知らされました。

以下の5つです。

- 第2次尾張旭市男女共同参画プラン
- 尾張旭市第4期障がい者計画・障がい福祉計画
- 尾張旭市高齢者保健福祉計画
- 尾張旭市子ども・子育て支援計画

パブリックコメントにかけられる計画の中で、高齢者保健福祉計画があります。これには3年ごとに見直される介護保険の計画が入っています。説明では、65歳以上の介護保険料の基準額が現

次期介護保険料  
約4900円提案

て支援事業実施計画  
● 尾張旭市第2次健康あさび21計画

在より18%上昇し、約4900円と示されています。前回残した介護兼準備基金は、全て取り崩した計画になっているとの話しも伝わってきましたが、基金意外にも、保険料を下げる方法は無いか検討します。

